

東北自動車道

新町高架橋他 1 橋補修設計

特記仕様書

令和 7 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
盛岡管理事務所

## 第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	テクリスへの登録	1
1-4	履行期間	2
1-5	資料の貸与	2
1-6	発注者または監督員が行う協議	3
1-7	計画工程表	3
1-8	調査等打合簿の作成及び提出について	4
1-9	工事記録情報の作成及び提出について	4
1-10	成果品	4
1-11	三者協議会について	5
1-12	ウィークリースタンスの取組み	5

## 第2章 業務細部に関する事項

2-1	現地踏査	6
2-2	維持修繕設計	6
2-3	設計打合せ	8
2-4	技術業務 電算機使用料	8
2-5	技術業務 交通費・宿泊費	8

## 第3章 補足事項

3-1	設計図書の変更及び追加が予想される内容	9
-----	---------------------	---

## 添付資料

- 様式-1 計画工程表
- 様式-2 履行期間通知書
- 様式-3 工事記録情報 完了届

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 東北自動車道 新町高架橋他1橋補修設計

1-1-2 道路名 東北自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 岩手県八幡平市野駄 (松尾八幡平IC)  
至) 岩手県八幡平市小柳田 (安代IC)

### 1-1-4 主な履行内容

現地踏査	1式
維持修繕設計 塩害対策工法検討	32箇所
維持修繕設計 施工方法検討	2基
維持修繕設計 詳細図作成	11枚
維持修繕設計 図面修正	8枚
維持修繕設計 数量計算	8枚
設計打合せ	1式

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-1-2-4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から70日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から310日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

#### 1-5 資料の貸与

共通仕様書1-15-1及び5-2-3「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	貸与予定日	備考
点検展開図（新町高架橋）	契約締結の日の翌日より 7日以内	電子データ （PDF形式）
東北自動車道 新町高架橋耐震補強設計 設計図（平成10年11月）	契約締結の日の翌日より 7日以内	電子データ （TIFF形式）
塩分試験分析結果（新町高架橋）	令和8年3月上旬	電子データ （PDF形式）

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く

#### 1-6 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書1-16「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

##### (1) 道路関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
新町高架橋 (P11-P12間)	市道小柳田河原線	八幡平市	道路占用等に関する協議	令和8年3月上旬
新町高架橋 (並行道路)	認定外道路	八幡平市	道路占用等に関する協議	令和8年3月上旬

#### 1-7 計画工程表

##### 1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式-1の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者とで協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
維持修繕設計	現地踏査	
	塩害対策工法検討A	
	塩害対策工法検討B	
	施工方法検討A	
	詳細図作成A	
	詳細図作成B	
	図面修正A	
	数量計算A	

	照査期間	60日
	報告書作成	
	設計打合せ	4回

#### 1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第1-4号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書1-1-4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

#### 1-8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後7日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後7日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1-9 工事記録情報の作成及び提出について

（1）共通仕様書1-4-4-1「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和6年7月版とする。

（2）受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を調査等完了届提出予定の2週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

（3）工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

#### 1-10 成果品

報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

#### 1－11 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

#### 1－12 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 現地踏査

現地踏査とは、本業務での設計に必要な現地状況を把握し、設計図書及び貸与資料と現地との整合性を目視により確認することをいう。なお、設計図書及び貸与資料と現地状況に相違がある場合は、速やかに監督員に報告するものとし、その後の取扱いについては監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

また、現地踏査は当初の打合せ時に行うものとし、それらに要する費用はすべて本項目に含むものとする。なお、現地踏査は当初の打合せと合わせて1日で行うものとする。

現地踏査の検測数量は、1式とする。

### 2-2 維持修繕設計

維持修繕設計とは、共通仕様書7-3「維持修繕設計」および本特記仕様書にしたがって、塩害で劣化したコンクリート構造物の補修を行うために必要な設計を行うことをいう。

#### 2-2-1 塩害対策工法検討

塩害対策工法検討とは、設計要領第二集橋梁保全編4章「コンクリート構造物」7「塩害対策」および監督員の指示にしたがって、塩分試験分析結果をもとに塩分移動量予測を行い、橋梁の損傷状況に基づき効果的かつ経済的な塩害対策工法を検討することをいい、次に示すとおり行うものとする。

塩害対策工法検討の検測数量は、箇所数（箇所）とする。

区分	橋梁名	箇所数	貸与する塩分試験分析結果
A	新町高架橋	8	1箇所当りコンクリート表面から 2cm ピッチで6試料（12cm分）
B	新町高架橋	24	1箇所当りRC巻き立て内部のクラック位置から 2cm ピッチで5試料（10cm分）

#### 2-2-2 施工方法検討

施工方法検討とは、設計要領第二集橋梁保全編4章「コンクリート構造物」3「前処理」3-4-2「設計一般」および監督員の指示にしたがって、塩害対策工法検討をもとにはつり処理時の断面欠損を考慮した応力照査を行い、適切な施工ブロック割りや施工順序、狹隘部の鉄筋防錆方法、断面修復方法等を検討することをいい、次に示すとおり行うものとする。

施工方法検討の検測数量は、基数（基）とする。

区分	橋梁名	対象	基数	備考
A	新町高架橋	P10 橋脚（上り線）	1	
		P10 橋脚（下り線）	1	



### 2-2-3 詳細図作成

詳細図作成とは、本業務での検討結果等に基づき施工に必要な図面を作成することをいい、次に示すとおり行うものとする。なお、完成図（参考図）はPDF形式であるため、必要に応じて完成図をPDF形式からDWG形式に変換した上で図面を作成するものとする。

詳細図作成の検測数量は、枚数（枚）とする。

区分	橋梁名	位置	上下区分	図面名称	枚数	備考
A	新町高架橋	-	上下線	橋梁一般図（その1）～（その7）	7	
		P10	上下線	P10 橋脚 構造一般図	1	
		橋脚	上下線	コンクリート除去工施工ステップ図	1	
B	新町高架橋	P10	上下線	構造物掘削普通部	1	
		橋脚		仮設迂回路工	1	

※1 Aは、既存の設計報告書、設計図面、資料、本業務での検討結果等を使用してDWG形式の図面を作成するもので、数量計算および設計計算を伴わないもの。

※2 Bは、既存の設計報告書、設計図面、資料、本業務での検討結果等を使用してDWG形式の図面を作成するもので、数量計算を伴い、設計計算を伴わないもの。

### 2-2-4 図面修正

図面修正とは、共通仕様書5-11-1「図面修正」に基づき、詳細図作成で作成した図面を修正することをいい、次に示すとおり行うものとする。

図面修正の検測数量は、枚数（枚）とする。

区分	橋梁名	位置	上下区分	図面名称	枚数	備考
A	新町高架橋	P10 橋脚	上り線	ひび割れ注入工・コンクリート除去工・断面修復工 詳細図	1	
				表面保護工 詳細図	1	
				コンクリート表面処理工 詳細図	1	
				はく落防止対策工 詳細図	1	
			下り線	ひび割れ注入工・コンクリート除去工・断面修復工 詳細図	1	
				表面保護工 詳細図	1	
				コンクリート表面処理工 詳細図	1	
				はく落防止対策工 詳細図	1	

※1 Aは、図面の修正率が10%未満、図面の区分が比較的簡易な図面であるもの。

#### 2-2-5 数量計算

数量計算とは、共通仕様書 5-11-3「数量計算」に基づき、図面修正で修正した図面から施工数量を算出することをいい、対象は本特記仕様書 2-2-4「図面修正」と同様とする。

数量計算の検測数量は、枚数（枚）とする。

#### 2-3 設計打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め 4 回とする。なお、当初の打合せについては現地踏査時に行うものとし、その費用は現地踏査に含むものとする。打合せの検測数量は 1 式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社盛岡管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

#### 2-4 技術業務 電算機使用料

技術業務 電算機使用料とは、本特記仕様書 2-2-4「図面修正」および 2-2-5「数量計算」に要する電算機使用料をいう。

区分	数量	対象となる内訳書の項目及び数量
図面修正 A	1 式	維持修繕設計 図面修正 A 8 枚
数量計算 A	1 式	維持修繕設計 数量計算 A 8 枚

#### 2-5 技術業務 交通費・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

### 第3章 補足事項

#### 3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

- (1) 1-6「発注者または監督員が行う協議」に示す協議の結果により、各設計項目の数量を変更する場合がある。
- (2) 現地踏査の結果により、各設計項目の数量を変更する場合がある。
- (3) 塩害対策工法検討および施工方法検討において、設計図書と現地状況の相違等により検討条件が大幅に異なることが判明した場合、監督員と受注者で協議の上、検討内容を変更する場合がある。
- (4) 塩害対策工法検討の結果により詳細図作成、図面修正および数量計算の数量を変更する場合がある。
- (5) 施工方法検討の結果により詳細図作成、図面修正および数量計算の数量を変更する場合がある。

以 上

## 1 設計業務

(全体履行期間)	令和	年	月	日	～	令和	年	月	日	( 日間)
(実履行期間)	令和	年	月	日	～	令和	年	月	日	( 日間)

[illegible]

## 2 関連業務資料

[illegible]

### 3 貸与資料

[illegible]

#### 4 關係機關協議

[illegible]

#### 4 その他懸案事項

[illegible]

## 5 協議内容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント(記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること)

- ① 適切な工程管理(費)の確保を図ることと目的とする。  
② 必要な業務や設計業務などについて、発注者と受注者双方で責任と責任範囲に上記資料入手や条件提示等の遅れが履行期間を圧迫することがないよう、資料入手・条件提示が対外関係に明確に明示される。  
③ 施設計画・設計業務の進捗状況が図表で表示されること、打合せの頻りに合わせて、必要に応じて工程に上記の遅れのないよう確認する。  
④ 照会の手続きと内容(結果)とを工程表に明示することにより、作業の進捗状況に一致した照会作業が実施されることにより確認する。  
⑤ 本工程表に作業計画書に添付することにより、発注者と受注者双方でより、適切な履行期間が確保されることで設計上の防止・品質の確保を図る。  
⑥ なお、本書式は図定のものと違い、上記記載を理解した上で、各業務単位で工夫・改良などにより利用することとする。

※作成時の留意事項

- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
- ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。
- ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

## 6 照査内容

<p>照査時期、照査内容、照査結果</p>	<p><b>照査①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照査時期：基本条件、設計条件検討時</li> <li>照査内容：基本条件の照査</li> <li>照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照査時期：設計方針、最終形式案決定時</li> <li>照査内容：細部条件の照査</li> <li>照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照査時期：成果品納入前</li> <li>照査内容：成果品の照査</li> <li>照査結果：</li> </ul>
-----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 東北自動車道 新町高架橋他 1 橋補修設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員 \_\_\_\_\_ 殿

受 注  
管理技術者 \_\_\_\_\_ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名		東日本高速道路(株) 東北支社 盛岡管理事務所	
調 査 等 名		東北自動車道 新町高架橋他 1 橋補修設計	
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。